



名古屋大学GTRセミナー

「ゲノム編集の現状と未来」

10月15日（火）農学部第12講義室 13:00~15:00

ゲノム編集技術が開発され、生物の研究戦略に大きな影響を与えています。また、ゲノム編集技術の農業や水産業への応用に期待が高まっています。本セミナーでは、ゲノム編集技術を用いて、植物（イネ）と動物（魚類）の改良と実用化を進めている2名の研究者を招聘し、ゲノム編集の応用最前線について講演頂きます。

穂のもみ数を増加させた
ゲノム編集イネ系統の
野外栽培試験の様子

ゲノム編集により
生み出された
肉厚のマダイ

セッション1

13:00~14:00

私たちの、そして世界の
食生活を支える品種改良

～従来の品種改良からゲノム編集まで～

セッション2

14:00~15:00

ゲノム編集技術を使った
養殖の現状と未来

国立研究開発法人

農業・食品産業技術総合研究機構

小松 晃 博士

京都大学大学院

農学研究科

木下 政人 博士